

平成 27 年度 第 3 回 魚沼市総合計画審議会 議事要旨

●日時 平成 27 年 10 月 14 日 19:00～21:00

●会場 魚沼市役所 小出庁舎302会議室

●出席者

(委員) 橋裕一、櫻井伸一、三友泰彦、井口政秀、中出文平、平井正尚、
坂井隆雄、滝沢茂、佐藤喜郎、小幡中治、横山正樹、 椋沢一彦
(欠席:坂大貞次、布施克也、星俊寛、岸本達行)

(事務局) 企画政策課企画政策室
酒井課長、森山室長、吉澤係長、中村主任、森山主任

●開会

●第二次魚沼市総合計画案の諮問

※大平市長から櫻井会長に諮問書を手交。(市長はその後退席。)

●報告事項

・第2回総合計画審議会以降の総合計画案の策定状況について事務局から説明した。

●審議事項

・第二次魚沼市総合計画案の審査について

委員) 成果指標の目標値について、魚沼市の現状値からの推移も見る必要はあるが、
国・県の数値と比較して目標値を設定すべきである。

委員) 環境衛生・自然分野の「豊かな自然の保全と育成」に関する指標は適切か。自然
環境保全の指標に値するかどうか、もう一度きちんと見直すべき。

委員) 事務局の説明では、前回の審議会以降の検討でも、目標人口の 35,500 人は変
更しなかったということだが、推計の根拠は。

事務局) 社会問題人口保障研究所が推計した数字に、合計特殊出生率の上昇、それから
社会減の抑制分を段階的に加えていった。具体的な数字は計画案に記載のとおり。

委員) 健康福祉分野の課題として「魚沼基幹病院との連携により市立医療施設の診療

体制を充実させていく必要がある」とあるが、市内の開業医等を含めた医療機関のネットワークを優先して記述するべきではないか。

事務局) 医療ご専門の布施委員が欠席されているので、事務局のほうでご意見を確認しておく。

委員) 環境衛生・自然分野の「森林と里山の再生」の指標として、「森林整備面積」をあげているが、現状値と目標値の累計方法は適切か。

事務局) 担当課からあがってきたものであるが、再度確認する。

委員) 健康福祉分野の「暮らしの支援体制の推進」の指標として「地域で高齢者に関するボランティア活動に参加したい人の割合」とあるが、「参加した人の割合」というものは取っていないのか。

委員) 「医療資源の育成」の指標として「家庭で血圧を測っている人の割合」は適切か。市では医師等就学資金貸付制度があるのだから、この受給者のほうが適切ではないのか。

委員) 「力強い農業経営の構築と地域農業の活性化」の指標で、「担い手数（認定農業者数）」が減少し、逆に農地利用集積面積が増えているが、将来的に経営体が少なくなっても、集積を図って、強化を図っていくという意味合いと捉えてよいか。

委員) 「公民館等社会教育施設、図書館、体育施設の利用者数」を指標としているところがあるが、対象施設とこの書き方は整合しているか。

委員) 観光についての目標値が全般的に低いのではないか。

事務局) 指標については、議会議決を要しないので日程に若干の余裕がある。全体的に確認と見直しをする。

委員) 前期基本計画の重点施策に「食のまちづくりの推進」があるが、重点施策の割に中身が薄い。成果指標にも関連するものは「魚沼ブランド推奨品の数」しかない。

委員) 前期基本計画の重点施策として3項目出していることは評価できる。しかし、具体的なものがない。おそらく市民もこれを読んでもわからないのではないか。

委員) 「魚沼市まち・ひと・しごと総合戦略」と整合性を図るという事務局の説明だったが、これを、前期基本計画の5年間に落とし込むべきである。

会長) 既に諮問されたわけなので、今の段階ではこの形は動かない。ただ、私どもが答申する中で、今言ったような意見を文言の中に盛り込んで出した段階においても検討されないようではやりようがない。答申の文面について審議をお願いするような段階で、再検討をということでお願いしたい。他にご意見は。

委員) 前期基本計画の重点施策に結婚・出産・子育ての支援があるが、特にシングルマザーの方々が、子育てに非常に難儀をしている。そういう方々の子育て支援は非常に重要と考える。

委員) 「人財」という言葉が使われている。私もコミュニティ協議会に関わっているが、どうやってそういう人達を育てていったらいいのか分からない状態。人を育てていくということも、どこかでもう少し具体的なものがあればありがたい。

会長) この審議会での意見のまとめ方等について、事務局から説明を。

事務局) それぞれの委員の方から色々な意見を頂いているが、審議会としての意見を頂くわけなので、皆さんで議論をした上で、答申書として頂きたい。

会長) 委員の言ったことを全て含めたものでは、答申の形にならないわけなので、審議会として意見集約をした中で、答申という形にしたい。

委員) この審議会の意見をまとめる会議で、事務局と我々が一つの事柄に対して遣り取りしていたのでは、審議委員全体の意見集約がなかなかできにくい。委員だけで少し審議する時間があった方がいい。

会長) 今ほどの意見については、私と副会長と事務局と話をさせて頂いて、次の会議の持ち方について検討し、それによって次回を行うということにさせて頂きたい。

●次回日程

事務局) 次回の会議を10月29日(木)としたい。正式にはまた通知をする。

●閉会

(終了20:30)